

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪城公園ほか 3 施設
施設所管課・担当	建設局公園緑化部調整課公園活性化担当
条例上の設置目的	市民の健康の増進と文化的な都市生活の確保を目的とする。
業務の概要	大阪城公園・大阪城野球場・大阪城西の丸庭園・豊松庵の管理運営・維持管理に関する業務（利用案内・受付、要望・苦情対応、園内施設管理、関係機関との連絡調整等）
成果指標	大阪城公園利用者への満足度調査結果、大阪城野球場・大阪城西の丸庭園・豊松庵の利用者（件）数、大阪城公園本丸エリアへの来園者数（推計）、大阪城公園への来園者数（推計）、大阪市への納付金額
数値目標	大阪城公園本丸エリアへの来園者数（推計） 408万人以上 大阪城公園への来園者数（推計） 855万人以上 大阪城野球場 年間利用件数 850件以上 大阪城西の丸庭園 年間有料入園者数 200,000人以上 豊松庵 年間利用件数 120件以上 大阪城公園利用者への満足度調査結果 85%以上
指定管理者名	大阪城パークマネジメント共同事業体 【構成員】 大阪城パークマネジメント(株) (株)電通 関西支社 讀賣テレビ放送(株) 大和ハウス工業(株)大阪本店 大和リース(株) (株)NTTファシリティーズ
指定期間	平成27年 4 月 1 日 ～ 令和17年 3 月31日
評価対象期間	令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	来園者数 (本丸エリア)	来園者数 (大阪城公園)	利用件数 (大阪城野球場)	有料入園者数 (西の丸庭園)	利用件数 (豊松庵)	利用者満足度 (大阪城公園)
数値目標	408万人以上	855万人以上	850件以上	200,000人以上	120件以上	85%以上
年度実績	538万人	1,143万人	1,001件	188,710人	139件	88.7%
達成率	131.9%	133.7%	117.8%	94.4%	115.8%	104.4%

利用状況

大阪城野球場	当年度	前年度	前年度比(差)
利用件数	1,001件	956件	104.7%(45件)
稼働率	－	－	－
西の丸庭園	当年度	前年度	前年度比(差)
利用人数	188,710人	133,856人	141.0%(54,854人)
稼働率	－	－	－
豊松庵	当年度	前年度	前年度比(差)
利用件数	139件	122件	113.9%(17件)
稼働率	－	－	－

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	—	—	—	
	計画	—	—		
利用料金収入	実績	539,923,850	346,665,731	26,485,450	国内・国外観光客の増加に伴う利用料金収入の増加
	計画	513,438,400	173,481,300		
その他収入 （自主事業収入等）	実績	1,089,919,710	874,050,268	184,481,110	国内・国外観光客の増加に伴う自主事業収入等の増加
	計画	905,438,600	796,411,700		
合計	実績	1,629,843,560	1,220,715,999	210,966,560	
	計画	1,418,877,000	969,893,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	353,046,755	324,736,454	2,551,755	利用者の増加による配置スタッフの増加
	計画	350,495,000	319,956,000		
物件費	実績	113,469,503	98,472,320	-35,760,397	森ノ宮噴水ポンプの改修工事を国内における資材不足により延期したこと等による減少
	計画	149,229,900	113,164,000		
その他事業費 （自主事業支出等）	実績	421,982,574	392,114,644	-16,446,526	西の丸庭園において予定していたキャッシュレス決済導入を、費用対効果の分析を継続するため延期したこと等による減少
	計画	438,429,100	410,005,000		
合計	実績	888,498,832	815,323,418	-49,655,168	
	計画	938,154,000	843,125,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
来園者数（本丸エリア）	131.9%	S	国内・国外観光客の増加に伴う来園数の増加
来園者数（大阪城公園）	133.7%	S	国内・国外観光客の増加に伴う来園数の増加
利用件数（大阪城野球場）	117.8%	A	
有料入園者数（西の丸庭園）	94.4%	B	
利用件数（豊松庵）	115.8%	A	
利用者満足度（大阪城公園）	104.4%	B	

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
簡易な補修・修繕については、園路不陸補修等内製化により、早期復旧及び費用削減を図った。 新型コロナウイルスの影響下から回復し、多額の納付金を本市に収めた。	A	変動納付金あり

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・関係法令及び各施設の維持管理の水準を遵守し、年間・月間維持管理計画に基づき実施していた。 ・公園利用者の安全確保のため、仕様書では年 4 回である日常点検を年 16 回実施することにより、施設及び設備の不具合箇所や不適正利用の早期発見に努めていた。 ・植栽管理について、マツ、サクラ、ウメ、モモの管理方法については著名な造園家を講師に招いて作業者の技術向上を試み、剪定、施肥、灌水等によって樹形の向上に努めていた。 ・森ノ宮エリアの低木が無い植栽帯へ新たに色とりどりの花苗を植栽し、またあじさい・うつぎ園にはあじさいを補植する等、四季折々の景観向上に努めていた。
事業計画の実施状況	B	・来園者数（本丸エリア・大阪城公園）及び利用件数・利用者数（大阪城野球場・西の丸庭園・豊松庵）については、概ねコロナ禍前の水準に戻り、上回りつつある状況となっている。 ・西の丸庭園においては、令和 5 年 11 月下旬から 2 月には「大阪城イルミネーション」を、令和 6 年 3 月から 4 月には「観桜ナイター」等のイベントを開催していた。 - また、「令和 5 年重要文化財大阪城の櫓 YAGURA 特別公開」（多聞櫓・千貫櫓）も開催し、51,390 人（令和元年度（新型コロナ前）：約 84 千人）の集客を実現していた。 ・各施設においては、ガイドブックやインフォメーションスタッフの多言語対応、ホームページ・SNS等を用いた情報発信を行っていた。
施設の有効利用	B	・MIRAIZA OSAKA-JO の玄関口に観光情報を発信するインフォメーションを設置し、1 階南側には大阪城公園の歴史を解説した展示エリアを設けて、本丸エリアを訪れる人々への情報発信に取り組んでいた。 ・森ノ宮周辺施設や住民とのコミュニケーションの場であるプラットフォーム「もりのみやって」においては、定例会議等で情報共有を行い、相互のイベントへの参加や連携を図っていた。 ・繁忙期の駐車場待ちの渋滞緩和及び来園者の利便性向上のため、森ノ宮駐車場において改修工事を行い、駐車台数を 100 台から 143 台に増加した。 ・大阪迎賓館利用者に対して豊松庵でお茶の提供を行い、利用者の拡大につなげていた。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・特定外来生物に指定されているクビアカツヤカミキリについて、大阪府立環境農林水産総合研究所・生物多様性センターの指導を受け、目視により公園内のバラ科樹木の点検を実施していた。 ・個人情報保護法等に準拠し、適正な管理を実施していた。 ・年 2 回の人権研修を実施し、大阪城特有のグローバルな公園として、全職員の自己啓発を促進していた。

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

4-2 魅力向上事業の達成状況

- ・「観桜ナイター」、「大阪城イルミネージュ」、「大阪城プロレス」、「餃子フェス」等の継続的なイベントの開催に加えて、「やきいもフェス」を始めとした新規イベントも開催し、賑わいを創出しており、集客数はコロナ禍前の水準に戻りつつある状況となっている。
- ・JO-TERRACE OSAKAに3つの空き区画があるうち、2つの空き区画に新たな店舗をオープンした。
- ・COOL JAPAN PARK OSAKAにおいては、「劇団☆新幹線43周年興行」（春公演・秋公演）や「テニスの王子様」（第4弾）等の公演を実施し、総入場者数は369,440人（昨年度：330,985人（112％））であった。
- ・園内交通システム（エレクトリックカー）における利用客数の増加による待機列解消策として、従来車両より座席数の多い大型の新型車両を導入した。
- ・地元来園者の多い森ノ宮噴水エリアにおいては、全ての店舗において売上・客数とも好調であった。
また、このエリアとしては初めてクリスマスツリーの設置を行い、ライトアップにより夜の回遊性を向上させ、好評を博した。

5 利用者ニーズ・満足度等

令和 5 年10月27日（金）から29日（日）にかけて満足度調査を実施した。
「本日、大阪城公園にご来園されての満足度を教えてください」との設問に対し、非常に満足・まあまあ満足・普通・あまり満足でない・不満足
の5段階評価を行った結果、2,248名の回答を得ることができ、その内、非常に満足・まあまあ満足の回答が88.7％を占めた。

6 外部専門家意見

- ・令和 5 年度の満足度調査（大阪城公園）の結果は、88.7％であったが、前年度の90％から微減しているため、今後注視していく必要がある。
- ・市費の縮減に係る取組状況については、変動納付金を納めており、非常に評価できる。
- ・管理運営の履行状況については、本市の求めている維持管理水準を満たしており、特に問題はない。
- ・魅力向上事業の達成状況については 様々な取組を行っており、今後も継続して実施しながら、さらなる国内・国外観光客の増加による賑わいの創出を期待している。
- ・今後、万博開催を控え、インバウンドを中心とした来園者数の増加が見込まれる中、オーバーツーリズム等の課題を見据え、天守閣を活かした夜向けのコンテンツの提供やD Xの活用等、具体的な対策により大阪城公園の魅力向上やサービス向上に努めていただきたい。
- ・キャッシュレス決済については利用者の利便性向上のため、園地内においても早期に導入いただきたい。

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		A	来園者数（本丸エリア及び大阪城公園）について、目標値を大幅に上回っており、非常に評価できる。
市費の縮減		A	変動納付金を納めており、非常に評価できる。
管理運営の履行状況		B	・施設の管理運営水準及び仕様書に沿った維持管理を行い、概ね水準に達する管理状況である。 ・継続的なイベントに加え、「やきいもフェス」を始めとした新規イベントの開催や園内交通システムにおける大型の新型車両の導入等、大阪城公園の賑わいの創出や利便性向上に繋がる様々な事業を実施する等、公園の利用促進に取り組んでおり、評価できる。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
施設の管理運営			
事業計画の実施状況			
施設の有効利用			
社会的責任・市の施策との整合性			
総合評価		A	・事業計画及び本市の定める水準で想定した以上の効果が得られた。